

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年7月1日 No.7 国際会議まであと32日

国際政治の最前線から政府・国連代表が参加!

2010年原水爆禁止世界大会 国際会議開会まであと1ヶ月と迫ってきました。NPT(核不拡散条約)再検討会議の成果と課題を次のステップにつなげる重要な今年の大会に参加する予定の政府・海外代表を何度かにわたって紹介します。第1弾は政府・国連代表特集です。

セルジオ・デケイロス・ドゥアルテ 国連軍縮問題担当上級代表

2008年世界大会に初参加して以来、3年連続となるドゥアルテ上級代表は、国連の軍縮部門の責任者として、NPTニューヨーク行動の際も、多大な協力をしてくださいました。5月2日には、国連本部前で署名を受けた後は、690万余の署名が積み上げられたハマースョルド広場まで来て日本原水協代表団を激励しました。核兵器廃絶のための人々の行動を高く評価し、「今年も広島でみなさんとお会いできることを楽しみにしています」と話しています。



ワリード・マームド・アブデルナーセル 駐日エジプト大使

NPT再検討会議では、核兵器廃絶に向けて期限を切った行程表を提案した非同盟運動の議長国。また、2012年中東非核化地帯会議を「最終文書」に盛り込ませるために尽力しました。



ムハンマド・シャルル・イクラム・ヤーコブ 国際原子力機関マレーシア代表理事/国際原子力機関理事会議長

2006年世界大会に参加。長年、国際政治の最前線で、核兵器禁止条約の実現の先頭に立ってきたマレーシアから参加します。



ミゲール・ルイスカバーニャス・イスキエルド 駐日メキシコ大使

新アジェンダ連合メンバー国の中でもNPT再検討会議の中で、核兵器廃絶のために最も奮闘したメキシコからは、この間毎年のように世界大会に参加しているルイスカバーニャス大使が参加します。



アルネ・ロイ・ウォルター 駐日ノルウェー大使

NATO(北大西洋条約機構)加盟国としてアメリカと同盟関係にありながら、核兵器廃絶までの時間枠を設けるべきだと主張しています。大使としての参加は初めてとなります。



アンドレス・G・バジェステル 駐日キューバ臨時代理大使、セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ 駐日ベネズエラ大使、モハメド・エゼディン・アブデル・モネイム アラブ連盟 軍縮・戦略問題特別顧問 が参加を予定しています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。